

## あかし市民活動応援助成金事業について

今年度、制度をリニューアルして実施している「あかし市民活動応援助成金事業」について、現在の取組状況を報告します。

## 1 助成金事業の概要

## (1) 対象事業

よりよい地域づくりの実現のため、地域における社会的課題等の解決や、地域社会における共同利益の実現につながる公益的な活動にかかるもの

## (2) 実施期間

令和5年4月1日～令和6年2月29日

## 2 助成金事業の実施状況

## (1) 助成団体数

43団体（総額 9,999千円） ※ 応募総数 52団体

事業要件	コース区分	助成金額	団体数
【活動助成】 申請団体自らが 市内において実施する 公益的事業	サポート10コース (活動の立ち上げや継続を 支援)	上限10万円	20
	サポート50コース (事業の規模拡大や年間を 通じた活動を支援)	上限50万円	15
【組織強化助成】 組織基盤強化に つながる取組	組織パワーアップコース	上限10万円	8

※1 組織パワーアップコースのうちサポート10コースとの併用が2団体、サポート50コースとの併用が3団体あり

※2 サポート10コースに採択された後、1団体から申請の取り下げあり

## (2) 助成団体の活動分野

分野	団体数	分野	団体数
SDGsの推進	7	環境の保全	2
こどもの健全育成	7	観光の振興	2
文化・芸術・スポーツの振興	7	社会教育の推進	1
保健・医療・福祉	6	男女共同参画社会の形成の促進	1
まちづくりの推進	4		37

### (3) 市民活動発表・交流会の開催

他団体の活動を学ぶとともに、団体間の交流を通じて、次年度の活動に向けた市民活動のさらなる広がりやパートナーシップ構築の促進を目指して開催。

- ・実施日：令和6年2月10日
- ・参加団体数：16団体

### (4) 事業の効果（一部団体の取組状況より抜粋）

#### ① ICTを活用したひきこもり支援のあり方に関するシンポジウム開催の取組

- ・ひきこもりの長期化、高齢化を課題と捉え、来場及びオンラインを活用して開催
- ・家から出ない状態で社会と繋がることができる「電子居場所」の取組など、ICTを活用したひきこもり支援の啓発に寄与した

#### ② 「障害者権利条約国連勧告とインクルーシブ教育について」の講演会開催の取組

- ・障害の有無により子ども達が共に学べていないことを課題と捉えて開催
- ・障害のある人もない人も共に生きていく社会を目指し、障害者権利条約と国連勧告について学ぶ機会を提供するとともに、インクルーシブ教育について考えるきっかけづくりに寄与した

#### ③ 海ガメ プロジェクトの取組

- ・林崎松江海岸利用者のゴミ放置による砂浜の汚染を課題と捉え、地域住民と協働して月1回の定期的な海岸清掃を行うとともに、SNSを活用した啓発活動によりきれいな海の維持・保護を目指す
- ・次代を担う子ども達をはじめ海岸の利用者に対して、環境に対する意識の向上に寄与するとともに、海ガメが安心して産卵できる環境づくりの一助となった

## 3 令和6年度事業の進め方

今年度の実施状況や、団体からの声もふまえ、事前説明会の開催、事業実施内容や期間の見直しなどを行い、次のスケジュールで進めます。

時 期	内 容
令和6年3月	説明会（3月24日実施予定）
4月	4月1日～4月30日：申請受付 （4月～3月：事業実施期間）
5月～6月	審査会 → 交付決定
令和7年2月	活動発表・交流会

## 4 その他

本事業の令和5年度の実施結果については、今年6月の生活文化常任委員会にて報告するとともに、市ホームページで公表する予定です。